

キヤノン株式会社

2019年12月期 決算説明会

2020年1月29日

代表取締役副社長 CFO 田中 稔三

本資料で記述されている業績見通し並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。

目次

■ 2019年実績	P 2~4
■ 2020年見通し	P 5~8
■ 事業別詳細 (2019年実績/2020年見通し)	P 9~16
■ 財務状況	P 17~18
■ サステナビリティへの取り組み	P 19
■ 参考資料	P 20~33

2019年実績のポイント

【外部環境】

- 先行き不透明感を背景に世界経済は減速局面

【当社業績】

- 景気減速の影響によりカメラやレーザープリンターの市場縮小が加速
- 産業機器は顧客の投資抑制により減収
- 構造改革は計画通り実施

2019年 全社PL(年間)

- 対前年：減収減益
- 対前回：新興国を中心に市場が低迷し、計画を下回る

(億円)	2019年 実績	2018年 実績	対前年	2019年 前回見通し	対前回
売上高	35,933	39,519	-9.1%	36,250	-317
売上総利益 (売上総利益率)	16,100 44.8%	18,356 46.4%	-12.3%	16,230 44.8%	-130
経費	14,353	14,926		14,350	-3
営業利益 (営業利益率)	1,747 4.9%	3,430 8.7%	-49.1%	1,880 5.2%	-133
税引前利益	1,957	3,629	-46.1%	2,160	-203
純利益 (純利益率)	1,251 3.5%	2,528 6.4%	-50.5%	1,400 3.9%	-149
USD	109.03	110.43		107.99	
EURO	122.03	130.29		121.07	

2019年 セグメント別PL(年間)

- オフィス、イメージング、産業機器その他は減収減益
- メディカルは前年並みの売上で着地

(億円)		2019年 実績	2018年 実績	対前年	2019年 前回見通し	対前回
オフィス	売上高	17,026	18,073	-5.8%	16,990	+36
	営業利益	1,689	2,208	-23.5%	1,720	-31
イメージング システム	売上高	8,074	9,704	-16.8%	8,220	-146
	営業利益	482	1,267	-62.0%	508	-26
メディカル システム	売上高	4,385	4,376	+0.2%	4,520	-135
	営業利益	267	288	-7.3%	305	-38
産業機器 その他	売上高	7,379	8,429	-12.5%	7,480	-101
	営業利益	155	557	-72.2%	204	-49
全社消去	売上高	-931	-1,063	-	-960	+29
	営業利益	-846	-890	-	-857	+11
連結合計	売上高	35,933	39,519	-9.1%	36,250	-317
	営業利益	1,747	3,430	-49.1%	1,880	-133

※ 放送機器やシネマ用ビデオカメラなどのビジネスの2018年実績については、イメージングシステムから産業機器その他へ組替えを行っております。

2020年見通しのポイント

【為替前提】

20年年間の為替影響額
(1円の変動による影響)

平均為替レート	19年年間	20年年間	売上	営業利益
USD/円	109.03円	108.00円	122億円	44億円
EUR/円	122.03円	120.00円	60億円	27億円

【外部環境】

- 景気は総じて持ち直すとみられるものの、下振れリスクを抱えて予断を許さない状況が続く

【2020年見通し】

- カメラやレーザープリンターの縮小を最小限にとどめる一方、新規事業の拡大加速により、成長軌道へ回帰

2020年 全社PL(年間)

■ 新規事業の成長と構造改革効果により増収増益

(億円)	2020年 見通し	2019年 実績	対前年
売上高	37,000	35,933	+3.0%
売上総利益 (売上総利益率)	16,700 45.1%	16,100 44.8%	+3.7%
経費	14,400	14,353	
営業利益 (営業利益率)	2,300 6.2%	1,747 4.9%	+31.7%
税引前利益	2,450	1,957	+25.2%
純利益 (純利益率)	1,600 4.3%	1,251 3.5%	+27.9%
USD	108.00	109.03	
EURO	120.00	122.03	

2020年 セグメント別PL(年間)

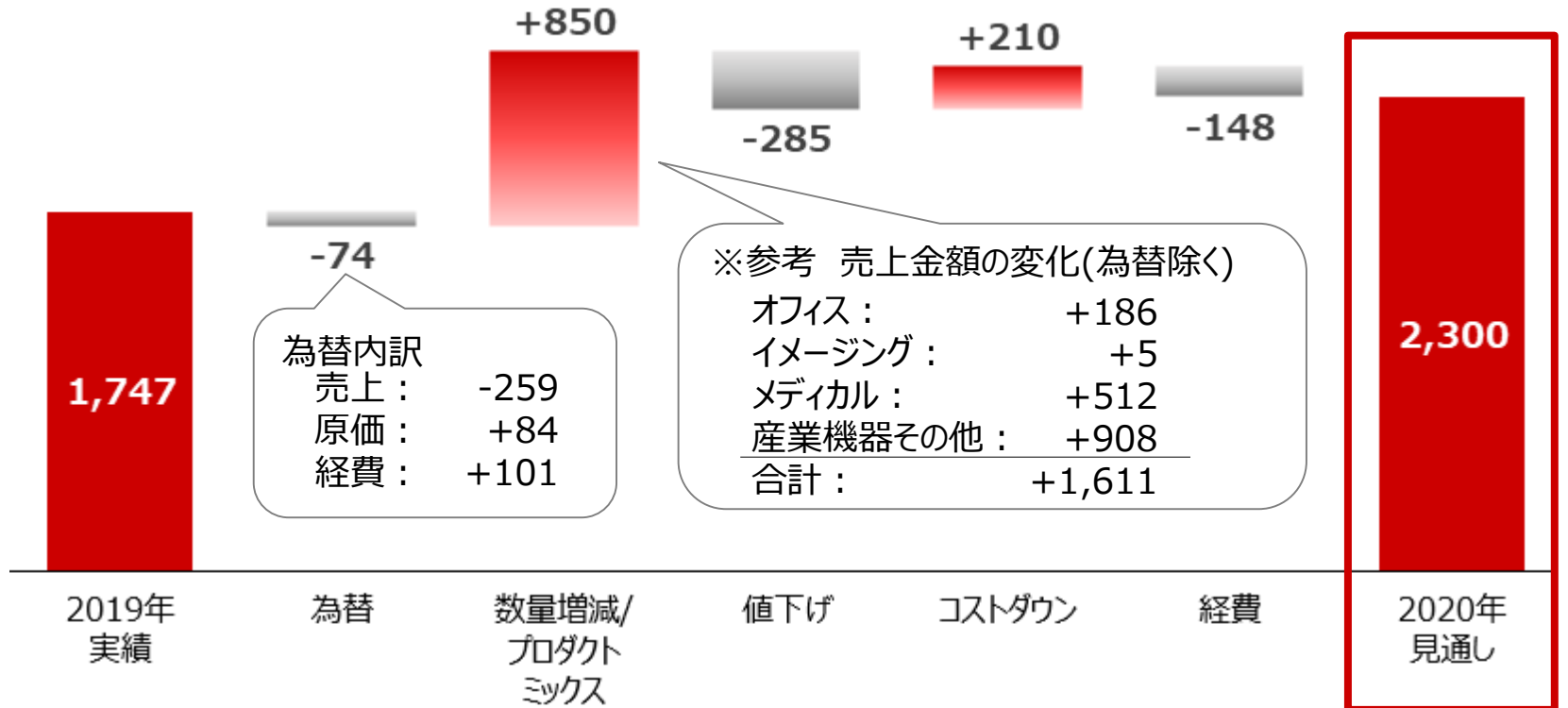
- オフィスの複合機は堅調、レーザープリンターの消耗品も安定化
- イメージングは引き続き減収となるも、収益性は改善
- メディカルと産業機器は良好な市況により大きく増収増益

(億円)		2020年 見通し	2019年 実績	対前年
オフィス	売上高	16,940	17,026	-0.5%
	営業利益	1,883	1,689	+11.5%
イメージング システム	売上高	7,870	8,074	-2.5%
	営業利益	537	482	+11.5%
メディカル システム	売上高	4,870	4,385	+11.1%
	営業利益	390	267	+45.8%
産業機器 その他	売上高	8,290	7,379	+12.3%
	営業利益	448	155	+189.4%
全社消去	売上高	-970	-931	-
	営業利益	-958	-846	-
連結合計	売上高	37,000	35,933	+3.0%
	営業利益	2,300	1,747	+31.7%

営業利益分析(年間)対前年

- メディカルや産業機器その他が売上を伸ばし、増益に貢献
- 新規事業の業績拡大のための経費を織り込む

(億円)



オフィス（複合機）

- 2019年はカラー機やプロダクション機新製品の販売が好調に推移
- 2020年は新製品の貢献により市場を上回る販売台数の成長を実現

(億円)

	年間					年間		
	2019年 実績	2018年 実績	対前年	2019年 前回見通し	対前回	2020年 見通し	2019年 実績	対前年
複合機	6,456	6,843	-5.7%	6,488	-32	6,587	6,456	+2.0%
LP	6,283	7,065	-11.1%	6,235	+48	6,033	6,283	-4.0%
その他	4,287	4,165	+2.9%	4,267	+20	4,320	4,287	+0.8%
売上高計	17,026	18,073	-5.8%	16,990	+36	16,940	17,026	-0.5%
営業利益	1,689	2,208	-23.5%	1,720	-31	1,883	1,689	+11.5%
%	9.9%	12.2%		10.1%		11.1%	9.9%	

■ 対前年売上伸び率(現地通貨)

	2019年 実績	2020年 見通し
複合機	-2.9%	+3.0%
LP	-9.4%	-3.6%
その他	+5.6%	+1.6%
合計	-3.5%	+0.2%

■ 台数伸び率

	2019年 実績	2020年 見通し
複合機		
モノクロ	-2%	+1%
カラー	+2%	+5%
合計	+1%	+3%



企業内印刷向けプロダクション機

『imagePRESS C165』

オフィス（レーザープリンター）

- 2019年は想定以上に市場が落ち込み、2020年も厳しい環境が続く
- 需要が底堅い 中・高速機を積極的に販売し、良質なMIFを拡大
- 特許侵害品へのアクションも継続し、消耗品の販売安定化を目指す

(億円)

	年間					年間		
	2019年 実績	2018年 実績	対前年	2019年 前回見通し	対前回	2020年 見通し	2019年 実績	対前年
複合機	6,456	6,843	-5.7%	6,488	-32	6,587	6,456	+2.0%
LP	6,283	7,065	-11.1%	6,235	+48	6,033	6,283	-4.0%
その他	4,287	4,165	+2.9%	4,267	+20	4,320	4,287	+0.8%
売上高計	17,026	18,073	-5.8%	16,990	+36	16,940	17,026	-0.5%
営業利益	1,689	2,208	-23.5%	1,720	-31	1,883	1,689	+11.5%
%	9.9%	12.2%		10.1%		11.1%	9.9%	

■ 対前年売上伸び率(現地通貨)

	2019年 実績	2020年 見通し
複合機	-2.9%	+3.0%
LP	-9.4%	-3.6%
その他	+5.6%	+1.6%
合計	-3.5%	+0.2%

■ 台数伸び率

	2019年 実績	2020年 見通し
LP		
モノクロ	-11%	-13%
カラー	+5%	-9%
合計	-8%	-12%

オフィス（その他）

- 2020年も引き続きグラフィックアーツ向けの製品を投入
- ブランドをキヤノンに統一し、連携を一層深める

(億円)

	年間					年間		
	2019年 実績	2018年 実績	対前年	2019年 前回見通し	対前回	2020年 見通し	2019年 実績	対前年
複合機	6,456	6,843	-5.7%	6,488	-32	6,587	6,456	+2.0%
LP	6,283	7,065	-11.1%	6,235	+48	6,033	6,283	-4.0%
その他	4,287	4,165	+2.9%	4,267	+20	4,320	4,287	+0.8%
売上高計	17,026	18,073	-5.8%	16,990	+36	16,940	17,026	-0.5%
営業利益	1,689	2,208	-23.5%	1,720	-31	1,883	1,689	+11.5%
%	9.9%	12.2%		10.1%		11.1%	9.9%	

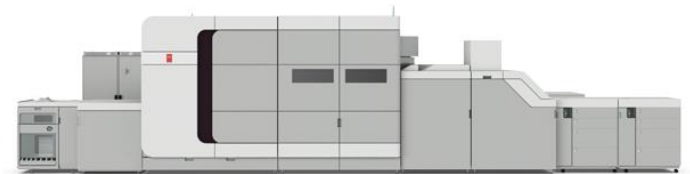
■ 対前年売上伸び率(現地通貨)

	2019年 実績	2020年 見通し
複合機	-2.9%	+3.0%
LP	-9.4%	-3.6%
その他	+5.6%	+1.6%
合計	-3.5%	+0.2%



大判プリンター

『Colorado 1650』



高速カットシートインクジェットプリンター

『VarioPrint i-series+』

イメージングシステム (カメラ)

- レンズ交換式カメラの市場は、2020年も前年並みの縮小が継続
- 市場が安定的に推移するプロ・ハイアマ向けモデルに注力し、本体の
プロダクトミックスの改善を図る

(億円)

	年間					年間		
	2019年 実績	2018年 実績	対前年	2019年 前回見通し	対前回	2020年 見通し	2019年 実績	対前年
カメラ	4,668	5,949	-21.5%	4,747	-79	4,345	4,668	-6.9%
インクジェット	2,881	3,202	-10.0%	2,922	-41	2,924	2,881	+1.5%
その他	525	553	-5.2%	551	-26	601	525	+14.5%
売上高計	8,074	9,704	-16.8%	8,220	-146	7,870	8,074	-2.5%
営業利益	482	1,267	-62.0%	508	-26	537	482	+11.5%
%	6.0%	13.1%		6.2%		6.8%	6.0%	

※ 放送機器やシネマ用ビデオカメラなどのビジネスの2018年実績については、イメージングシステムから産業機器その他へ組替えを行っております。

■ 対前年売上伸び率(現地通貨)

	2019年 実績	2020年 見通し
カメラ	-18.4%	-6.0%
インクジェット	-7.2%	+2.4%
合計	-13.8%	-1.6%

■ 台数伸び率 (単位:万台)

	2019年実績		2020年見通し	
	台数	伸び率	台数	伸び率
レンズ交換式	416	-17%	350	-16%
コンパクト	257	-19%	190	-26%



フラッグシップ機

『EOS 1D X Mark III』



新コンセプトカメラ

『iNSPiC REC』

イメージングシステム（インクジェット）

- 2019年は市場の縮小により減収
- 2020年は大容量インクモデルの商品力を強化し販売を伸ばす

(億円)

	年間					年間		
	2019年 実績	2018年 実績	対前年	2019年 前回見通し	対前回	2020年 見通し	2019年 実績	対前年
カメラ	4,668	5,949	-21.5%	4,747	-79	4,345	4,668	-6.9%
インクジェット	2,881	3,202	-10.0%	2,922	-41	2,924	2,881	+1.5%
その他	525	553	-5.2%	551	-26	601	525	+14.5%
売上高計	8,074	9,704	-16.8%	8,220	-146	7,870	8,074	-2.5%
営業利益	482	1,267	-62.0%	508	-26	537	482	+11.5%
%	6.0%	13.1%		6.2%		6.8%	6.0%	

※ 放送機器やシネマ用ビデオカメラなどのビジネスの2018年実績については、イメージングシステムから産業機器その他へ組替えを行っております。

■ 対前年売上伸び率(現地通貨)

	2019年 実績	2020年 見通し
カメラ	-18.4%	-6.0%
インクジェット	-7.2%	+2.4%
合計	-13.8%	-1.6%

■ 台数伸び率

	2019年 実績	2020年 見通し
インクジェット	-9%	+1%



大容量インクモデル
『Gシリーズ』

メディカルシステム

- 2019年は、これまで投入してきた新製品効果により増収
- 2020年は、販売力強化に重点的に取り組み、売上を拡大
- グループ間で連携して原価低減活動を加速し、収益性を向上

(億円)

	年間				
	2019年 実績	2018年 実績	対前年	2019年 前回見通し	対前回
売上高計	4,385	4,376	+0.2%	4,520	-135
営業利益	267	288	-7.3%	305	-38
%	6.1%	6.6%		6.7%	

	年間		
	2020年 見通し	2019年 実績	対前年
売上高計	4,870	4,385	+11.1%
営業利益	390	267	+45.8%
%	8.0%	6.1%	

■ 対前年売上伸び率(現地通貨)

	2019年 実績	2020年 見通し
合計	+2.4%	+11.7%



CT
『Aquilion Start』



MRI
『Vantage Galan 3T Focus Edition』

産業機器その他（露光装置）

- 2019年は顧客の投資抑制影響を受け減収
- 2020年はメモリ市況回復により半導体露光装置の台数が大幅増

(億円)

	年間					年間		
	2019年 実績	2018年 実績	対前年	2019年 前回見通し	対前回	2020年 見通し	2019年 実績	対前年
露光装置	1,572	1,998	-21.3%	1,594	-22	1,801	1,572	+14.6%
その他	5,807	6,431	-9.7%	5,886	-79	6,489	5,807	+11.7%
売上高計	7,379	8,429	-12.5%	7,480	-101	8,290	7,379	+12.3%
営業利益	155	557	-72.2%	204	-49	448	155	+189.4%
%	2.1%	6.6%		2.7%		5.4%	2.1%	

※ 放送機器やシネマ用ビデオカメラなどのビジネスの2018年実績については、イメージングシステムから産業機器その他へ組替えを行っております。

■ 対前年売上伸び率(現地通貨)

	2019年 実績	2020年 見通し
露光装置	-20.9%	+14.5%
その他	-8.3%	+12.4%
合計	-11.3%	+12.8%

■ 露光装置台数 (単位：台)

	2018年 実績	2019年 実績	2020年 見通し
半導体	114	84	134
FPD	69	50	54



多様なデバイスの製造工程に対応

i線ステッパー『FPA-3030iWa』

産業機器その他（その他）

- 2020年の有機EL蒸着装置は顧客の投資回復により増収へ転換
- ネットワークカメラはラインアップを強化し、2020年も成長を目指す

(億円)

	年間					年間		
	2019年 実績	2018年 実績	対前年	2019年 前回見通し	対前回	2020年 見通し	2019年 実績	対前年
露光装置	1,572	1,998	-21.3%	1,594	-22	1,801	1,572	+14.6%
その他	5,807	6,431	-9.7%	5,886	-79	6,489	5,807	+11.7%
売上高計	7,379	8,429	-12.5%	7,480	-101	8,290	7,379	+12.3%
営業利益	155	557	-72.2%	204	-49	448	155	+189.4%
%	2.1%	6.6%		2.7%		5.4%	2.1%	

※ 放送機器やシネマ用ビデオカメラなどのビジネスの2018年実績については、イメージングシステムから産業機器その他へ組替えを行っております。

■ 対前年売上伸び率(現地通貨)

	2019年 実績	2020年 見通し
露光装置	-20.9%	+14.5%
その他	-8.3%	+12.4%
合計	-11.3%	+12.8%



ネットワークカメラ
『VB-R13VE (H2)』

在庫の状況

- メディカルと産業機器その他の半導体露光装置は拡販に向け積み増し
- イメージングシステムのカメラは、在庫水準の引き下げを図る

(金額：億円)

		2018年				2019年			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
オフィス	金額	2,075	2,099	2,246	2,061	2,152	2,058	2,011	1,917
	日数	41	42	46	42	44	44	44	41
イメージングシステム	金額	1,405	1,452	1,738	1,396	1,562	1,516	1,569	1,279
	日数	47	57	67	50	62	73	73	55
メディカルシステム	金額	804	860	893	906	938	930	923	975
	日数	66	74	80	73	75	79	77	79
産業機器その他	金額	1,601	1,583	1,727	1,750	1,857	1,807	1,840	1,677
	日数	73	75	86	91	101	103	105	95
合計	金額	5,885	5,994	6,604	6,113	6,509	6,311	6,343	5,848
	日数	52	56	62	56	62	65	65	59

※ 放送機器やシネマ用ビデオカメラなどのビジネスの2018年実績については、イメージングシステムから産業機器その他へ組替えを行っております。

キャッシュフロー(年間)

- 2019年は流動性に問題のない水準の手元資金を維持
- 2020年は営業キャッシュフローを改善し、財務体質の健全化を進める

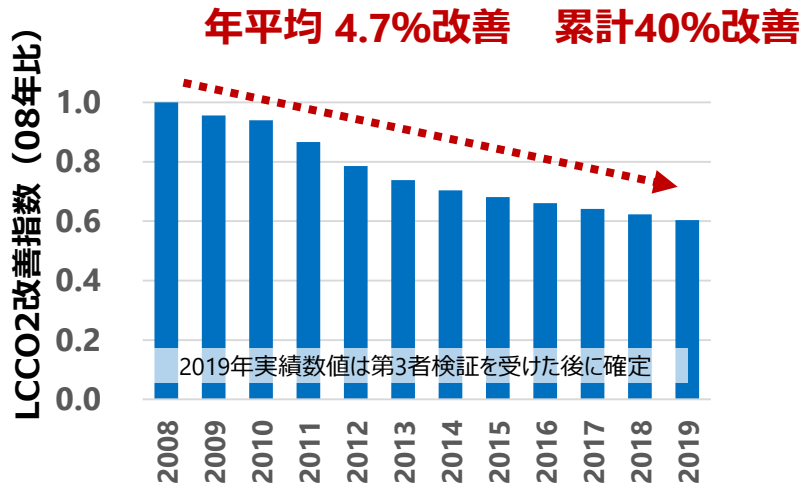
(億円)	2020年 見通し	2019年 実績	2018年 実績
営業活動によるキャッシュフロー	4,300	3,585	3,653
投資活動によるキャッシュフロー	-2,100	-2,286	-1,956
フリーキャッシュフロー	2,200	1,299	1,697
財務活動によるキャッシュフロー	-2,200	-2,326	-3,549
為替変動影響	-28	-51	-160
現預金の純増減額	-28	-1,078	-2,012
現預金の期末残高	4,100	4,128	5,206
手元回転月数 (※)	1.3	1.4	1.6
設備投資	1,600	1,781	1,593
償却費	2,200	2,373	2,516

※ 2020年は年間売上高で算出。2019年および2018年は下期売上高で算出

サステナビリティへの取り組み 2019年の主な実績

■ 低炭素社会の実現

製品1台当たりのライフサイクルCO2 年平均3%の改善目標に対し、**3.4%達成**
(2018年比)



省エネ製品の開発・販売
→ 使用段階を約**1.6%改善**



拠点での省エネ活動推進
→ 生産段階を約**1.0%改善**

船舶輸送の徹底
→ 物流段階を約**0.8%改善**



■ サプライチェーン

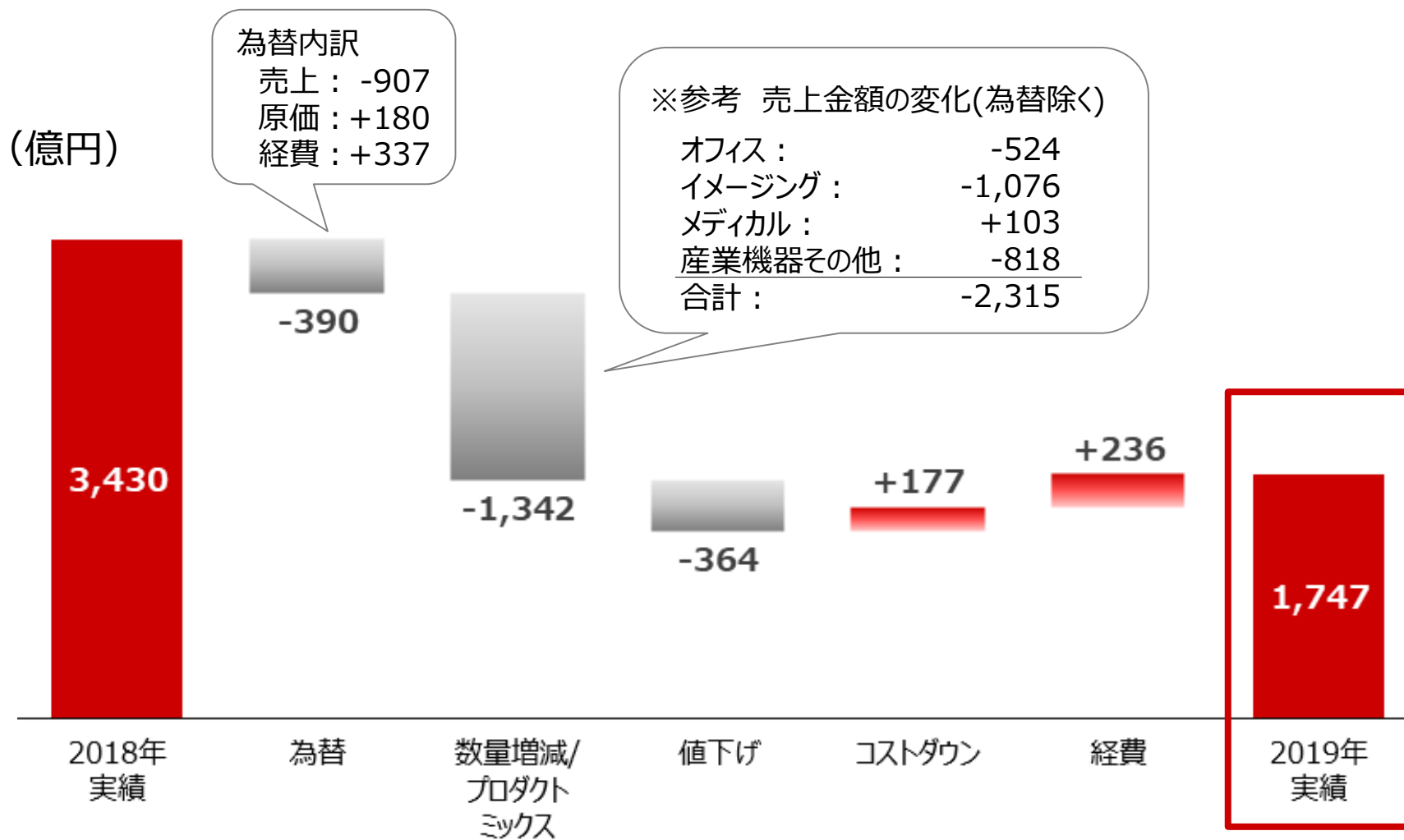
RBAに加盟し、サプライチェーン全体でのCSR活動を強化



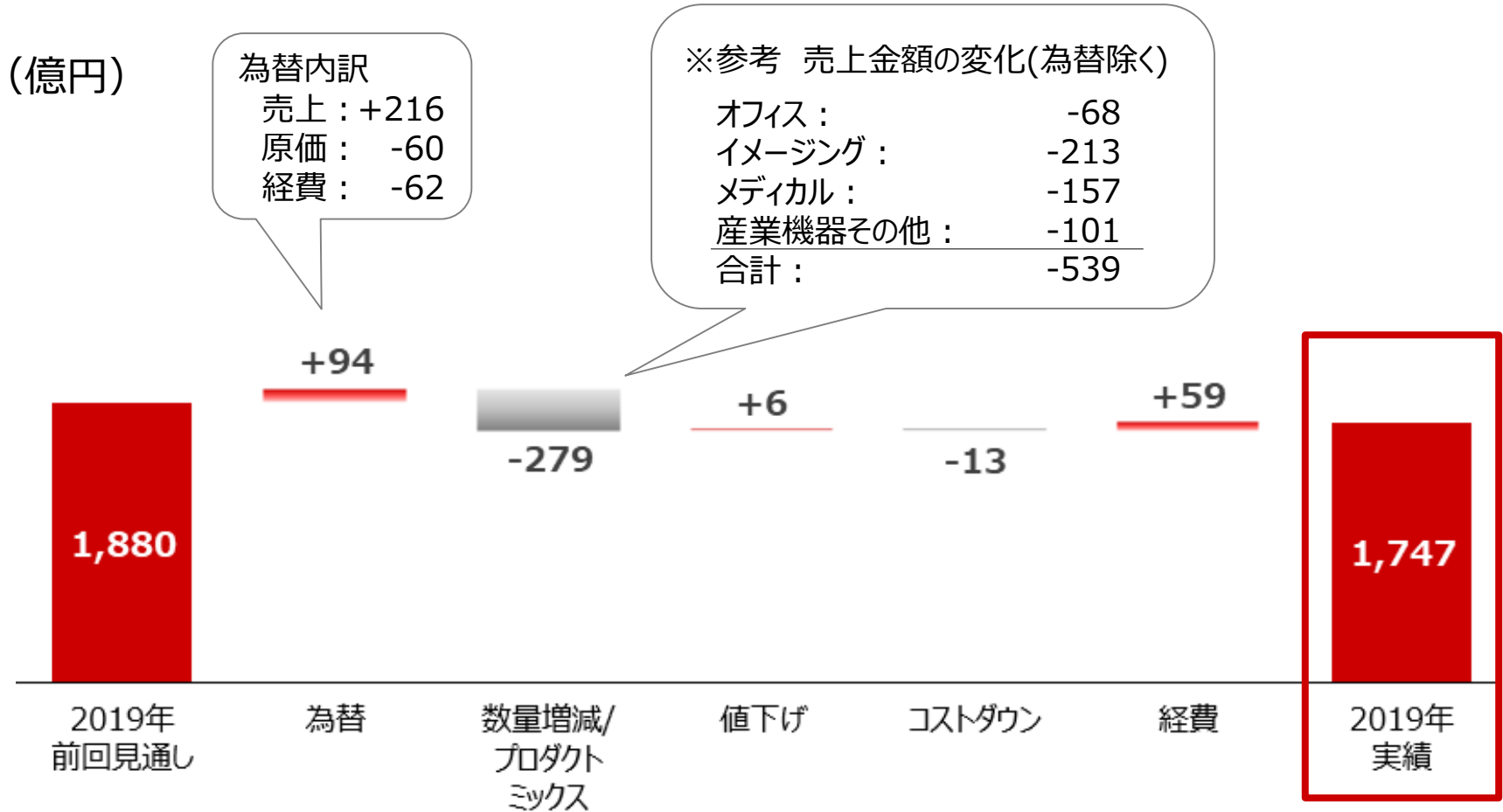
グローバルなサプライチェーンにおいて、労働者の人権や労働安全、環境配慮、倫理的な経営の徹底を目的とする国際的な企業同盟

參考資料

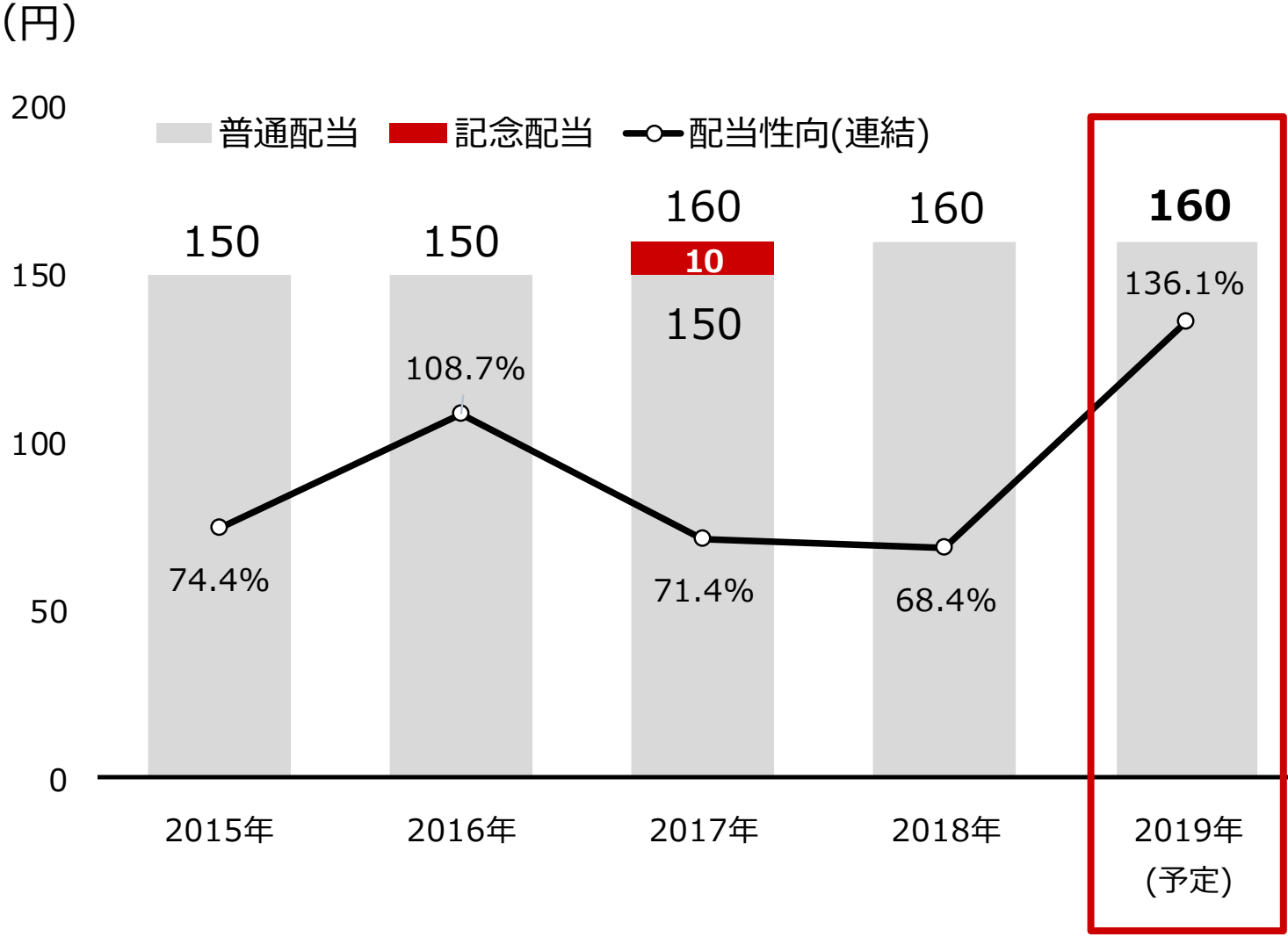
営業利益分析(2019年年間)対前年 Canon



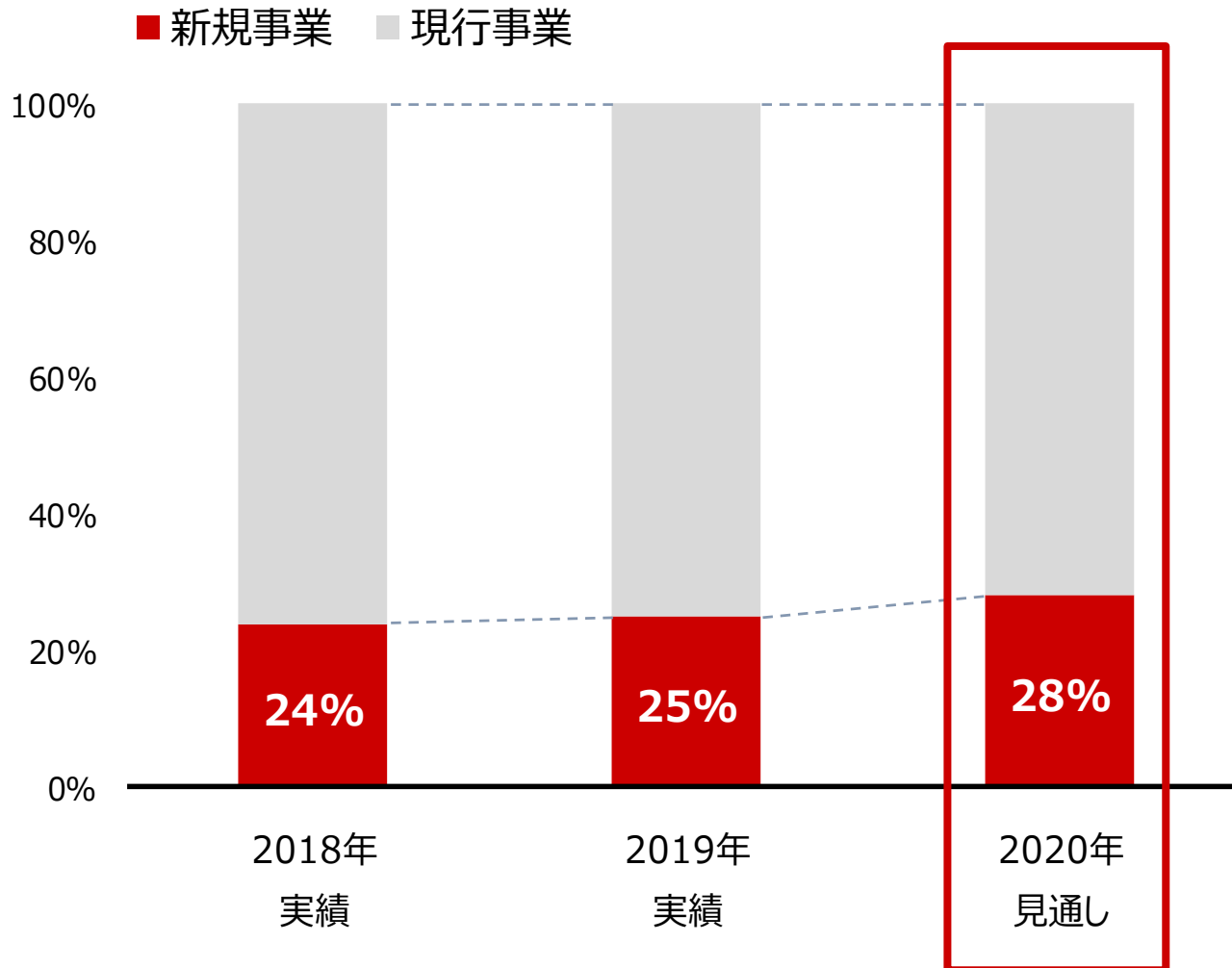
営業利益分析(2019年年間)対前回 Canon



配当の推移



新規事業売上構成比の推移



■ハード/ノンハード別 対前年売上伸び率

		2020年	2019年		2018年	
		年間 見通し	4Q 実績	年間 実績	4Q 実績	年間 実績
複合機						
円貨	ハード	+5%	-10%	-7%	-1%	-1%
	ノンハード	0%	-5%	-5%	-6%	-1%
LC	ハード	+6%	-6%	-4%	0%	-2%
	ノンハード	+1%	-2%	-2%	-5%	-2%
LP						
円貨	ハード	-9%	-13%	-5%	+4%	+1%
	ノンハード	-1%	-11%	-15%	-3%	-1%
LC	ハード	-8%	-11%	-3%	+5%	+1%
	ノンハード	-1%	-9%	-13%	-3%	-1%
インクジェット						
円貨	ハード	+24%	-10%	-9%	-8%	-3%
	ノンハード	-9%	-13%	-10%	-6%	-5%
LC	ハード	+25%	-7%	-7%	-7%	-3%
	ノンハード	-8%	-9%	-8%	-5%	-5%

■ カラー比率

		2020年	2019年		2018年	
		年間 見通し	4Q 実績	年間 実績	4Q 実績	年間 実績
複合機	売上高	60%	60%	59%	60%	59%
	台数	59%	58%	59%	58%	58%
LP	売上高	51%	51%	52%	51%	51%
	台数	21%	21%	20%	19%	18%

■ 複合機 モノクロ/カラー別 対前年売上伸び率

		2020年	2019年		2018年	
		年間 見通し	4Q 実績	年間 実績	4Q 実績	年間 実績
円貨	モノクロ	0%	-8%	-6%	-6%	-3%
	カラー	+3%	-7%	-5%	-3%	0%
LC	モノクロ	+1%	-4%	-4%	-4%	-3%
	カラー	+4%	-3%	-2%	-1%	-1%

■ レンズ交換式カメラ比率

	2020年	2019年		2018年	
	年間 見通し	4Q 実績	年間 実績	4Q 実績	年間 実績
金額ベース	85%	86%	85%	85%	85%
台数ベース	65%	64%	62%	60%	61%

※金額ベースには交換レンズも含む

■ 半導体露光装置台数 光源別内訳

(単位：台)

	2020年	2019年		2018年	
	年間 見通し	4Q 実績	年間 実績	4Q 実績	年間 実績
KrF	30	8	22	7	32
i線	104	19	62	23	82
合計	134	27	84	30	114

2019年 4Q

全社PL (2019年4Q)

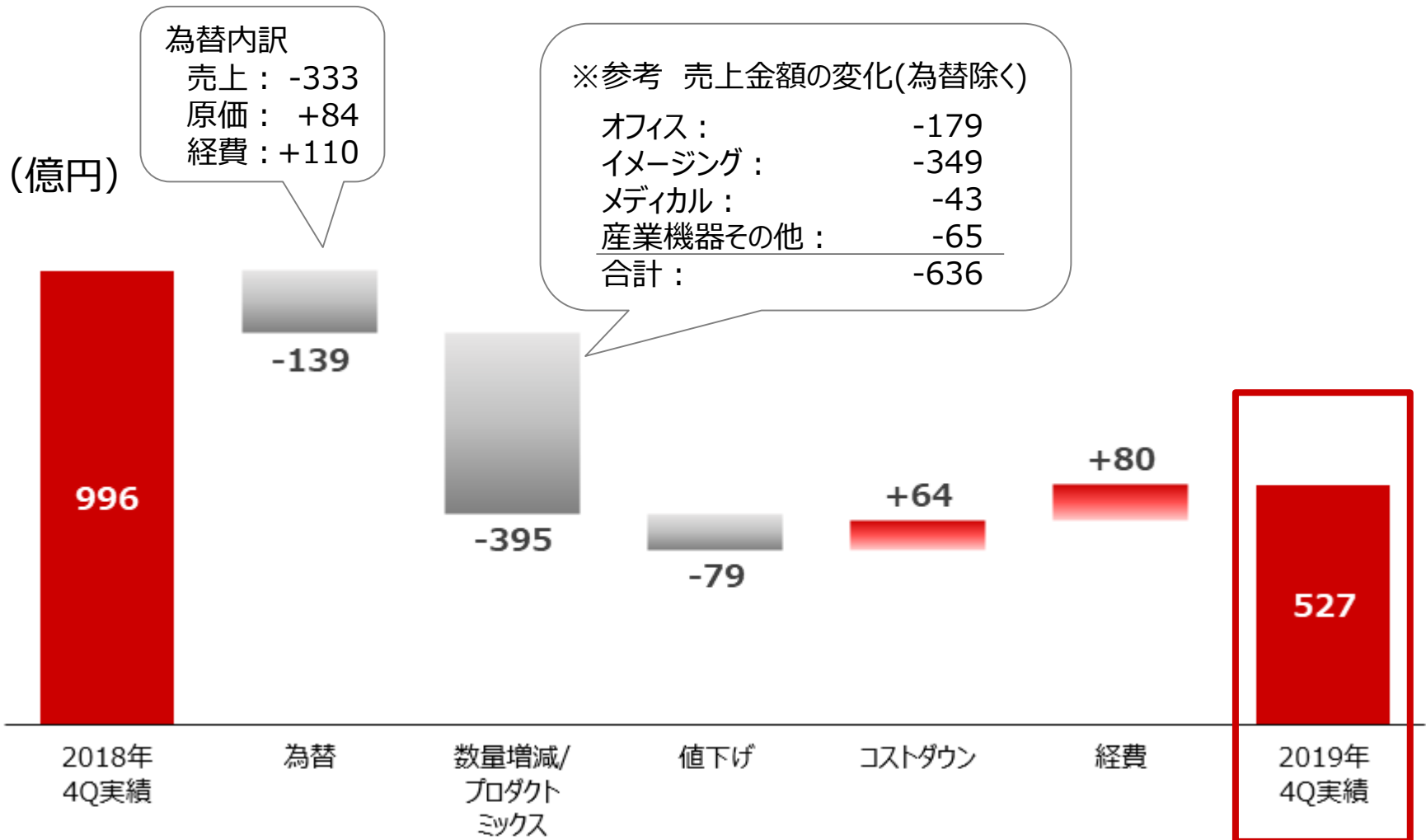
(億円)	2019年 4Q実績	2018年 4Q実績	対前年
売上高	9,535	10,583	-9.9%
売上総利益 (売上総利益率)	4,234 44.4%	4,893 46.2%	-13.5%
経費	3,707	3,897	
営業利益 (営業利益率)	527 5.5%	996 9.4%	-47.1%
税引前利益	515	1,000	-48.5%
純利益 (純利益率)	328 3.4%	717 6.8%	-54.3%
USD	108.75	112.89	
EURO	120.35	128.74	

セグメント別PL (2019年4Q)

(億円)		2019年 4Q実績	2018年 4Q実績	対前年
オフィス	売上高	4,353	4,716	-7.7%
	営業利益	406	607	-33.1%
イメージング システム	売上高	2,372	2,872	-17.4%
	営業利益	207	425	-51.3%
メディカル システム	売上高	1,100	1,182	-6.9%
	営業利益	76	88	-13.5%
産業機器 その他	売上高	1,929	2,085	-7.5%
	営業利益	6	88	-93.1%
全社消去	売上高	-219	-272	-
	営業利益	-168	-212	-
連結合計	売上高	9,535	10,583	-9.9%
	営業利益	527	996	-47.1%

※ 放送機器やシネマ用ビデオカメラなどのビジネスの2018年実績については、イメージングシステムから産業機器その他へ組替えを行っております。

営業利益分析(2019年4Q)対前年



オフィス/イメージングシステム(2019年4Q)

オフィス

(億円)

	4Q		
	2019年 実績	2018年 実績	対前年
複合機	1,678	1,813	-7.5%
LP	1,562	1,773	-11.9%
その他	1,113	1,130	-1.4%
売上高計	4,353	4,716	-7.7%
営業利益	406	607	-33.1%
%	9.3%	12.9%	

■ 対前年売上伸び率 (現地通貨)

	2019年 4Q実績
複合機	-3.8%
LP	-9.6%
その他	+2.0%
合計	-4.6%

■ 台数伸び率

	2019年 4Q実績		LP	2019年 4Q実績	
	複合機	モノクロ		モノクロ	カラー
複合機	+1%		モノクロ	-16%	
LP			カラー	0%	
合計	0%		合計	-13%	

イメージングシステム

(億円)

	4Q		
	2019年 実績	2018年 実績	対前年
カメラ	1,378	1,749	-21.2%
インクジェット	856	973	-12.0%
その他	138	150	-8.1%
売上高計	2,372	2,872	-17.4%
営業利益	207	425	-51.3%
%	8.7%	14.8%	

■ 対前年売上伸び率 (現地通貨)

	2019年 4Q実績
カメラ	-17.3%
インクジェット	-8.5%
合計	-13.6%

■ 台数伸び率 (台数単位:万台)

	2019年4Q実績			2019年 4Q実績	
	台数	伸び率		インクジェット	
カメラ	126	-19%	インクジェット	-10%	
インクジェット	71	-31%			

※ 放送機器やシネマ用ビデオカメラなどのビジネスの2018年実績については、イメージングシステムから産業機器その他へ組替えを行っております。

メディカル/産業機器その他(2019年4Q)

メディカルシステム

(億円)

	4Q		
	2019年 実績	2018年 実績	対前年
売上高計	1,100	1,182	-6.9%
営業利益	76	88	-13.5%
%	6.9%	7.5%	

■ 対前年売上伸び率 (現地通貨)

	2019年 4Q実績
合計	-3.6%

産業機器その他

(億円)

	4Q		
	2019年 実績	2018年 実績	対前年
露光装置	404	489	-17.3%
その他	1,525	1,596	-4.5%
売上高計	1,929	2,085	-7.5%
営業利益	6	88	-93.1%
%	0.3%	4.2%	

■ 対前年売上伸び率 (現地通貨)

	2019年 4Q実績
露光装置	-17.0%
その他	-2.1%
合計	-5.6%

■ 露光装置台数(単位：台)

	2019年 4Q実績	2018年 4Q実績
半導体	27	30
FPD	10	17

※ 放送機器やシネマ用ビデオカメラなどのビジネスの2018年実績については、イメージングシステムから産業機器その他へ組替えを行っております。